

福蔵寺住職

新美昌道

留学僧派遣発足準備委員会開かる

一月十五日成人の日、善光寺海外留学僧派遣育英会の設立準備委員会

が開かれた。委員及び職員の顔ぶれは次の通りである。

(五十音順)

駒沢女子短期大学教授・学監 東 隆真

光真寺住職

黒田俊雄

宝泉寺住職

佐藤俊明

大本山総持寺祖院監院

鷲見透玄

防衛医科大学校教授

中村治雄

駒沢大学副学長

奈良康明

午后三時、山主、導師となり、釈迦殿において、本尊釈迦牟尼佛に奉告の読経。終つて不動殿に移り、設立準備委員会。

まず山主が、海外留学僧派遣の発願趣旨とこれまでの経緯について述べ、各委員を紹介し、佐藤師を設立準備委員長に選出した。

佐藤師、席につき挨拶ののち、山主より基金が贈呈され、議事に入り、設立趣意書、規程、細則が審議に付され、ついで役員の委嘱について意見が交換され、六時三〇分会議を終了した。決定した事項は次の通りである。



留学僧派遣育英会設立の意義

東 隆真

このたび、善光寺住職・黒田武志老師は、善光寺海外留学僧派遣育英会を設立された。

同寺開創十五周年を期して、海外に留学僧を派遣し、人材の育成をはかり、仏教を振興し、世界の平和と人類の進運に寄与せんことを願うてのことである。

これは、若き頃、燃える情熱を胸に、タイ国仏教寺院に留学し、白人伝道のためアメリカに渡った老師の貴重な体験が、その基調となっている。

未曾有の危機と不安と絶望を招いている地球上の現代において、不殺生を第一に標榜する世界人類の至宝・仏教のもつ意義と役割は、予想以上に、はるかに大きい。

これに対する日本仏教界の認識は、近年、かなり高まって来ているとは言え、とくにこの方面の具体的な方策はと言えば、一、二をのぞいて、ほとんど全く着手されていないと見て過言ではなからう。

使命観と責任感をもった前途有為の真摯な仏教僧が、広く世界を舞台にして、刻苦勉励し、二十一世紀の輝かしい未来を創造してほしい。

それでは、そのための大事業を、いつ、誰がやるのか。

他に依存することのできぬ、しかし一か寺の住職の立場で、老師は、蹶然、宿願を実現すべく、その第一歩を、ここに踏み出そうとしている。

関係各位の絶大な御理解と御支援を、切に切に望んでやまない。

なかんずく、黒田老師の誓願と意気に感じ、仏教のため、世界平和のためには死んでもよいというほどの大願心をもつ高士の、一層の奮起を希い、育英会に積極的に応募してほしいものである。

善光寺海外留学僧派遣育英会設立趣意書

善光寺を開創して15周年を閲しました。ゼロからの出発ではありましたが、法輪轉ずるところ、食輪自ら轉ぜられております。これ正に佛天の御加護と大方の諸大徳諸賢の御協力御支援の賜物で感謝にたえないところであります。

宗祖を通して釈尊に還ることが私の宗教生活の帰趨とするところであり、この信念が私をして佛舍利奉拝日本一周行脚、インド佛蹟巡拝、そしてタイ国留学に駆り立て、さらには白人と参禪を共にすべくアメリカへ向わせたのであります。そしてこの間に頂戴した尊い佛縁が、私の今日をあらしめる土台づくりとなったのであります。いまや人類は宇宙時代に入り、時間的にも空間的にも距離は著しく短縮され、世界はあたかも一国の觀を呈しておりますが、反面、人類はかつてない不安と絶望の危機に見舞れております。これは明らかに現代社会の悲劇であり、今日ほど佛陀釈尊の教法宣布を必要とするときはないのであります。

しかるに、わが国は世界最大の佛教国でありながら佛教界は遺憾

ながら、世界の大勢に即応して教化の実を挙げる態勢に欠けております。こゝに海外生活を通して広く世界に活眼を開く人材育成の重要性を痛感するものであります。

よって善光寺は開創十五周年を期して報恩行の一端として、海外に留学僧を派遣し、人材の育成をはかり、もって、佛教を振興し、世界の平和、人類の進運に寄与せんことをねがい、海外留学僧派遣育英会を設立するものであります。

昭和五十九年一月十五日

宗教法人 善光寺 黒田 武志

宗教法人善光寺海外留学僧派遣育英会細則

第一章 総 則

(名 称)

第一条 この会は、宗教法人善光寺海外留学僧派遣育英会という。

(事 務 所)

第二条 この会は、事務所を横浜市港南区日野町一六〇四宗教法人善光寺内におく。

第二章 目的及事業

(目 的)

第三条 この会は、大学卒業相当以上の学力を有し、佛教を修学する者のうち、学業操行ともに優秀にして身心堅固なものを海外に派遣し、佛教の興隆、国家社会の進運に寄与し得る有為な人材を育成することを目的とする。

(事 業)

第四条 この会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

業を行う。

一 海外留学僧の派遣

二 その他、前条の目的達成のために必要な事業

業

第三章 役員及職員

(役員の数)

第五条 この会に次の役員をおく。

理事六名以上八名以内（うち理事長一名 常務

理事一名）監事二名

(役員の選任)

第六条 理事長は、善光寺代表役員をもって充てる。

2. 常務理事は、理事の中から理事長が選任する。

3. 理事は、次の各号により選任する。

一 佛教界代表

二 学識経験者

三 善光寺檀徒代表

4. 監事は理事会において選任する。

5. 理事長は顧問を推戴し、参与を委嘱する事が出来る。

(役員の職務)

第七条 理事長は、この会の事務を総理し、この会を代表する。

2. 常務理事は、理事長を補佐し、理事会の決議に基き事務を処理する。

3. 理事は、理事会を組織し、この会の業務を議決し執行する。

4. 監事は、会務を監査する。

(役員の任期)

第八条 役員の任期は三年とし、再任を妨げない。

二、補欠による役員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員の報酬)

第九条 役員は無給とする。

(職員)

第十条 この会の事務を処理するため幹事をおく。

二、幹事は、理事長が任免する。

第四章 会 計

(経費の支弁)

第十一条 この会の事業遂行に要する経費は、基金から生ずる果実及び寄付金をもつて充てる。

(事業計画及び予算)

第十二条 この会の事業計画及び、これに伴う収支予算は毎会計年度前に理事長が編成し、理事会の同意を得るものとする。

(事業報告及び決算)

第十三条 この会の決算は、毎会計年度終了後二ヶ月以内に理事長が作成し、事業報告とともに監事の意見を付し、理事会の承認を受けるものとする。

(会計年度)

第十四条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終る。

第五章 補 則

(細 則)

第十五条 この会の運営についてその細則は、理事会の議決を経て別に定める。

宗教法人善光寺海外留学僧派遣育英会規程

第一条 宗教法人横浜善光寺海外留学僧派遣育英会規程に基づきこの細則を定める。

第二条 海外留学僧の派遣先は当分の間次による。

一 Watpaknam, Bhasichareon Bangkok.

二 Zen Center of Los Angeles. 905 Normandie

Ave. Los Angeles Calif. U.S.A.

第三条 海外派遣の人数及び期間は、諸般の事情を斟酌し理事会において決定する。

付 則

一、この規程は、昭和五十九年一月十五日から施行する。

二、この会当初の会計年度は、第十四条の規定にかかわらず規程施行の日から翌年三月三十一日までとする。

第四条 海外留学志望者は、次の書類を本会宛提出しなければならない。

一 保証人と連署した願書

二 卒業証明書

三 本会の指示によるレポート

第五条 海外留学僧は、理事会の選考を経て理事長が決定し、その結果を本人に通知する。

第六条 海外留学僧には、派遣先までの往復旅費及び

派遣先における滞在に要する必要経費を支給する。

第七条 海外留学僧は、毎年度末に修学状況報告書を理事長あて提出しなければならない。

第八条 海外留学僧が次の各号の一に該当すると認められたとき、理事会は派遣先の責任者の意見を徴して海外留学僧としての処遇を停止する。

一、健康を害し、その他身体の原因により、修学を継続し得なくなつたとき

二、修学の意欲を失ない、留学僧として不適当な行為があつたとき

三、その他、留学僧として修学を続け得ざる状況の生じたとき

第九条 海外留学を終えた場合、留学僧は理事長あて報告書を提出しなければならない。

第十条 海外留学僧は、帰国後、本会とよく連携を保ち将来有為な人材となるべく適切な指導助言を受けるものとする。

第十一条 この細則の実施について、さらに必要な事項は別にこれを定める。

付 則

一、この細則は昭和五十九年一月十五日より実施する。

両大本山貫首猊下を名誉顧問に推戴する。

顧問には、左の方々を推戴する。

顧 問

善光寺開基家 株式会社ナリス化粧品社長 村岡有尚
善光寺檀徒総代 伊藤建築研究所々長 伊藤喜二郎

駒沢大学総長

桜井 秀雄

タイ国・ワットパクナム住職 プラ・タンマテララ
ーチャマホームニ

ロスアンゼルス禅センター主管

仏真寺住職 前角 博雄

ニューヨーク州立大学教授

伊藤 博

世界仏教徒連盟本部(バンコク)事務次長 小谷亀太郎

左の方々を参譽に委嘱する。

参 譽

日本パクナム会会長 石附 周行

曹洞宗開教振興協議会委員

松永 然道

前大本山総持寺国際部長 西村 輝成

法類代表(桐谷寺住職)

黒田 純夫

曹洞宗開教振興協議会委員 小笠原隆元

富士銀行上大岡支店長

平林 實

役職員は次の通りである。

役 員

理事長 善光寺住職 黒田 武志

第三号選出 防衛医科大学校教授

中村 治雄

常務理事 宝泉寺住職 佐藤 俊明

監 事 西島産婦人科病院院長

西島 一郎

理 事

監 事 仲田会計事務所所長

仲田 清祐

第一号選出 大本山総持寺祖院監院

幹 事 福蔵寺住職

新美 昌道

本寺・光真寺住職 黒田 俊雄

職 員

第二号選出 駒沢大学副学長

奈良 康明

駒沢女子短期大学教授

東 隆真

今年は準備期間とし、第一回留学僧の派遣は来春とする。
なお、派遣先はタイ国ワット・パクナムとする。

